資料－５

浜田港を利用した
クルーズ客船誘致について

平成 28 年 5 月

島根県商工労働部観光振興課

目次

第１章　はじめに 2
第２章　浜田港の現状 3
第３章　クルーズ客船の誘致対策（案） 5
第４章　上陸後モデルルート、クルーズ商品（案） 8

第１章　はじめに

近年、国内外におけるクルーズ旅行利用者数は増加しており、2015 年（平成 27 年）には国港湾へのクルーズ客船寄港回数が 1,452 回を超え過去最高を記録しました。そのうち、外国船社が運行するクルーズ船の寄港回数は、中国からのクルーズ船の寄港増加や外国船社が運行する日本発着クルーズ船の増加などから、965 回（前年比 312 回増）となり、これも過去最高を記録しました。

クルーズ客船の入港は、港湾収入のほか、多くの乗船客による観光消費、関連産業のへの経済効果が期待できることから、先進的なポートセールスの事例収集や情報の分析を行い、国内外の船社や旅行業者などに対して、積極的なプロモーション活動を行っていくことや、港湾のハード、ソフト両面の整備、地元市民を挙げた歓迎体制の充実など、寄港地としての特色ある魅力づくりを進めていくことが必要となります。

（国土交通省HPより）

第２章　浜田港の現状

（１）港の概要

浜田港は島根県西部のほぼ中央に位置し、自然条件にも恵まれていたことから古くより九州や北陸地方との貨客交流や、朝鮮との貿易などにより発展してきました。
1899 年(明治 32 年)に境港と共に開港場に指定され、全国でも8番目に古い外国貿易港としての歴史をスタートさせました。
1957 年(昭和 32 年)に重要港湾に指定され、2001 年に韓国・釜山（プサン）港との国際定期コンテナ航路が開設し、2008 年にはロシア・ウラジオストク港とを結ぶ国際 RORO 船航路が開設されました。また、2011 年 11 月には日本海側拠点港《原木》に選定され、山陰西部の国際貿易港として更なる発展が期待されています。

（国土交通省中国地方整備局　港湾･空港整備事務所HPより）

（２）浜田港の施設整備状況

ふ頭名	名称	延長	所定水深	エプロン巾	けい船能力	
		(m)	(m)	(m)	重量（ｔ）数	隻数
福井ふ頭	１号岸壁	130	-7.5	20	5,000	1
	２号　〃	90	-5.5	15	2,000	1
	３号　〃	280	-14(暫定-12)	20	55,000	1
	４号　〃	130	-7.5	20	5,000	1

（３）旅客船の寄港実績（過去３年）

入港日	出港日	客船名	船籍	前港	後港
H2710･27	H2710･27	にっぽん丸	日本	境港	雲仙
H27　5･10	H27　5･10	ぱしふぃっくびいなす	日本	釜山	大湊
H26　9･30	H26 9･30	飛鳥Ⅱ	日本	佐世保	舞鶴
H26　9･27	H26 9･27	にっぽん丸	日本	金沢	下関
H25　7･10	H25 7･10	にっぽん丸	日本	ウラジオ	横浜
H25　5･13	H255･13	ふじ丸	日本	輪島	門司

【参考資料】平成２７年　にっぽん丸・ぱしふぃっくびいなす寄港の様子

※浜田港振興会 HP より

※にっぽん丸

※にっぽん丸

※ぱしふぃっくびいなす

第３章　クルーズ船の誘致対策（案）

（１）ターゲットと考えられる船舶

①日本船

飛鳥Ⅱ

ぱしふぃっくびいなす

にっぽん丸

船舶名	総トン数	全長	全幅	乗客定員	客室数
飛鳥Ⅱ	50,142G/T	241m	29.6m	872 名	436 室
ぱしふぃっくびいなす	26,518トン	183.4m	25m	696 名	238 室
にっぽん丸	21,903トン	166.6m	24m	532 名	184 室

②外国船（仮）

◆1 万トン未満の客船

船舶名	船籍	船社	総代理店	総トン数 全長	全幅 喫水	乗客定員 客室数
オリオンⅡ	マルタ	オリオン・ エクスペディション・ クルーズ	ジェイバ	4,077トン 88m	15.3m 4.5m	100 名 50 室
カレドニアン・スカイ	バハマ	ノーブル カレドニア社（英国）	－	4,200トン 90.6m	15.3m 4.2m	114 名 57 室
2015実績（抜粋）　金沢・下関・松山・神戸						
スピリットオブオセアヌス	バハマ	クルーズ・ウエスト	インターオーシャン・ シッピング	4,280トン 89.7m	15.31m 4.0m	120 名 57 室
シルバーディスカバラー	バハマ	シルバーシー エクスペディション （米国）	インターナショナル・ クルーズ・ マーケティング	5,218トン 103 m	15.4m 4.6m	120 名 64 室
2015実績（抜粋）　金沢・境港・萩・門司						

※クリッパーオデッセイは、シルバーディスカバラーに改名。 ※オリオンⅡは近年は来日していない。

※スピリットオブオセアヌスは近年は来日していない

◆１万トン以上の客船

船舶名	船籍	船社	総代理店	総トン数 全長	全幅 喫水	乗客定員 客室数
シルバーシャドウ	バハマ	シルバークルーズ	インターナショナル・クルーズ・マーケティング株式会社	28,000トン 182 m	24.8m 6.0m	382 名 194 室
アドニア（Adonia）	バミューダ	P&O クルーズ	－	30,277GT 181m	25.5m 6.0m	668 名 －
オーシャニア・ノーティカ	マーシャル諸島	オーシャニア・クルーズ	ティーアンドティー	30,277トン 181m	25.5m 5.9m	684 名 342 室
アザマラジャーニー	米国	アザマラ・クラブ・クルーズ	株式会社ミキ・ツーリスト	30,277トン 180m	25m 6.0m	694 名 347 室
セブンシーズボイジャー	バハマ	リージェント・セブンシーズ・クルーズ社	クルーズ・バケーション	42,363トン 204m	28.8m 7.1m	700 名 354 室
ル・ソレアル	仏国	ポナン	マーキュリートラベル	10,700トン 142m	18.0m 4.8m	264 名 132 室
ロストラル	仏国	ポナン	マーキュリートラベル	10,700トン 142m	18.0m 4.8m	264 名 132 室
ザ・ワールド	バハマ	レジデンシー（米国）		43,524トン 196.35m	29.8m 6.7m	390 名 198 室

※選定理由としては、浜田港入港可能船で日本入港実績が有る客船

（２）誘致にあたっての課題

クルーズ客船の誘致や寄港した際の地域課題についてまとめました。

項目	課題
外国語マップ	・港からのアクセス等への配慮 ・外国各国の言語への対応 ・市内 BANK 情報の記載（土日の営業への対応など） ・市内交通機関への外国語表示
おもてなし店舗	・歓迎ステッカーの作成 ・免税店のふ頭への出店
ボランティアガイド	・外国語ガイドの確保と連携 ・観光ルートのしっかりした事前告知
観光バス	・台数確保
おみやげ	・お勧め商品のリストアップ紹介パンフの作成 ・船内での販売や注文宅配による方法の検討
両替サービス	・港での出張サービスや BANK との連携など
港湾	・清掃 ・2次交通との連絡、連携
テロ対策	・条約に定められた規定の順守

（３）誘致手法および実施時期

商工・観光団体関係者、市町・県の観光振興担当者等で構成する、浜田港クルーズ客船誘致対策ワーキンググループにおいて連携、情報を共有する。

県がクルーズ客船誘致業務を委託する事業者が、国内外の船社や旅行代理店への直接訪問や各種シンポジウムやコンベンションへの参加を行い、浜田港への誘致を行う。活動の状況について、ワーキンググループで報告を行う。

また、世界遺産・日本遺産・石見神楽に代表される地域の伝統芸能、石見ならではの田舎の魅力など地域の資源を掘り起こし、旅行商品に作り上げていく。

これらを取りまとめたパンフレットやパワーポイント資料、映像等を制作し、説明資料として活用する。

平成 29 年度に日本船の寄港数増、平成 30 年度には外国船の寄港を実現するよう取り組みを進める。

【主なシンポジウムやコンベンション例】

・全国クルーズ客船誘致連絡会
・プリンセスクルーズ受入港協議会
・クルーズシッピングマイアミ・・・・・・・毎年3月
・カンパニー・デユ・ポナン受入港協議会
・アジアクルーズターミナル協会（業界フォーラム）
・国際展覧会へ共同ブース出展
・全国クルーズ活性化会議
・国への要望活動
・西日本の港の連携「五港物語」 クルーズシンポジウムなど ※情報収集

①誘致に関する手法と実施時期

役割…●県・市・浜田港クルーズ客船対応連絡調整会議等　☆民間

分野	STEP１（平成 27～28 年度）	STEP２（平成 29 年度）	STEP３（平成 30 年度）
営業活動	●コンベンションへの参加 ●各連絡会、協議会への加盟 ●他港担当者との交流 ●ターゲットのリストアップ ●船会社（日本船）へのアプローチ ☆商品造成 ●総代理店リストアップ（外国船）	日本船の入港 ●インスペクション（視察） ☆商品造成（外国船） ●総代理店へのアプローチ	●代理店等との連携 外国船の入港
おもてなし	●市内受け入れ体制の把握（外国船） ●誘致用パンフレット・パワーポイント作成（日本語・外国語） ●港でのおもてなし内容の検討 ●担い手の募集	●研修等おもてなし実施 ●日本船おもてなし ●パンフレット・パワーポイントの活用 ●☆実施にあたっての準備・練習（観光アプリや通訳に関しても検討） ●☆日本船おもてなし	●☆外国船おもてなし準備・実施
ハード整備	●交通整備等対応検討	●入口看板設置	●入口看板設置
チャーター	●市内企業リストアップ	●チャーター促進	☆チャーター実施

第５章　上陸後モデルルート、クルーズ商品（案）

（１）石見地域の観光資源（場所、お土産など）

地元浜田市には、大規模観光施設として「しまね海洋館アクアス」が存在する。

また、世界遺産の石見銀山、日本遺産の津和野百景図、石見神楽、石州和紙など魅力ある素材が溢れている。さらに、石見の肉・魚をふんだんに使った「神楽めし」などのグルもある。

主な観光素材（例）は以下のとおり。

観光地	・世界遺産　石見銀山　・山陰の小京都　津和野
自然　景観	・温泉　・棚田　・夕陽　・スキー　・桜　・梅　・水仙
歴史　文化	・万葉　・石見神楽
食　食材	・のどぐろ　・うずめ飯　・どんちっち三魚　・石見和牛　・石見ポーク　・あんこう　・カニ
お土産	・地酒　・どぶろく　・干物　・赤天　・神楽面　・石州和紙　・焼物
体験	・石州和紙すき　・カヌー　・そば打ち
レジャー	・アクアス　・グラントワ

【今後磨き上げを検討していく観光資源（例）】

・温泉と神楽を堪能できるメニュー
・和の文化、焼物や瓦、和紙で作る神楽面、食品加工干物やソーセージ
・弥栄のどぶろく特区や棚田
・子供神楽による港でのおもてなし　・雨天時の近隣施設でのおもてなし
・和服を着用した温泉街歩き　・子どもによるおもてなしイベント
・魚や地酒の船内提供および販売　・世界遺産とローカル列車
・その他地域連携によるエリアの魅力を整理、発信

（２）モデルルートおよびクルーズ商品例

近隣市町との連携を図り、広域で観光を楽しんでもらえるルートを検討し、魅力的な商品造成を促します。

日程	行程	外国人向けの場合のポイント
半日		
	浜田港＝＝＝＝しまね海洋館アクアス 地域連携イベント ・石見神楽上演 ・地域おもてなしブース ・体験コーナー ・お土産販売 ＝＝＝＝浜田港 	★海外に誇れる

日程	行程	外国人向けの場合のポイント
半日	観光ボランティアと温泉街歩き	
	浜田港＝＝＝＝有福／美又／旭＝＝＝＝＝＝浜田港 	★有福温泉を浴衣を着て 湯めぐり
１日	世界遺産石見銀山大森まちあるき	
	浜田港＝＝＝＝世界遺産石見銀山＝＝＝＝浜田港 	★町並み保存（地域の文化） 観光ボランティアさんのご案内 ～石見から世界へ～
１日	津和野殿町　大名行列	
	浜田港＝＝＝＝津和野＝＝＝＝浜田港 	★山陰の小京都タイムスリップ